東北大学-RIETI共催シンポジウム

# コロナが変えた社会

プレゼンテーション資料

# 「コロナが変えた家族」

# 瀧川 裕貴

東北大学文学研究科准教授

2021年11月10日





## コロナが変えた家族

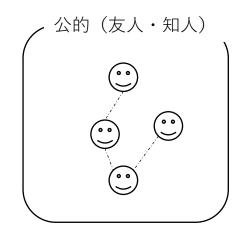
東北大学-RIETI共催シンポジウム「コロナが変えた社会」 2021年11月10日 瀧川裕貴(東北大学)

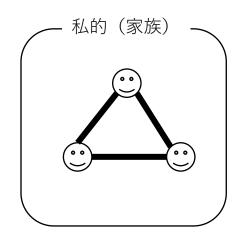
## 自己紹介

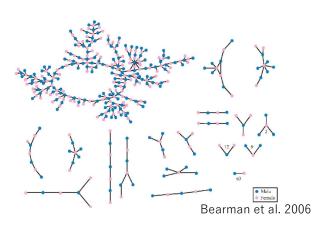
- 東北大学大学院文学研究科計算人文社会学所属
- 博士(社会学)
- 専門は、デジタル社会調査、社会ネットワーク分析、数理社会 学、計算社会科学
- 「デジタル社会調査の方法を用いて社会学的視点から新型コロナウイルス問題を考える」

# 社会学的視点とは?

- 社会構造 (→社会的つながり、ネットワーク) の視点から考えること
- コロナ禍における社会的つながりの再編成







⇒メンタルヘルスへの影響

# 家族の社会学的な見方

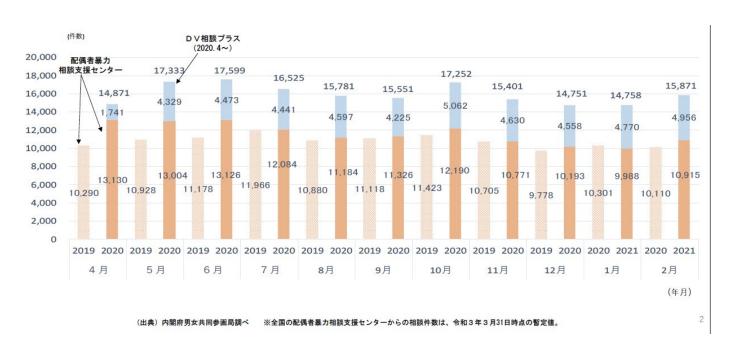
- 役割アイデンティティ論(Thoit)
- 家族は、夫役割、妻役割、親役割、子役割などの社会的に定義づけられたカテゴリからなる。
- 役割とは、権利や義務、規範や期待の集合。これらが 家族間の関係性を定める。
- 役割アイデンティティは自尊心やコントロール感覚の 源泉



#### コロナ禍による家族のつながりの揺らぎ?

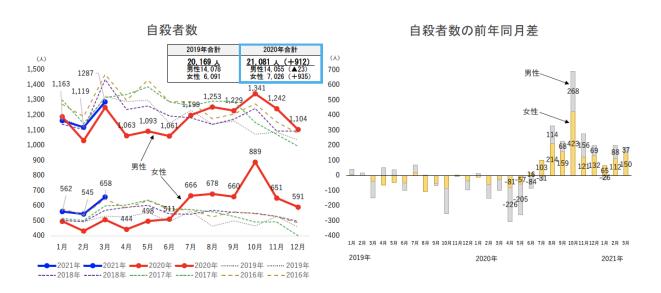
- 在宅勤務、休職・失業、子どもの休校、外部とのつながりの遮断 →家族との強制近接forced proximity
  - \*一般的に、強制近接は攻撃性や家庭内暴力を引き起こす可能性が示唆(Van Babel et al 2020)
- 役割理論的観点から…
  - コロナ禍で関係性がゆらぐなか、役割アイデンティ ティの再構築が上手くいかない場合には、人びとの メンタルヘルスに悪影響?

# DV相談件数の増加



コロナ下の女性への影響 と課題に関する研究会 (2021)

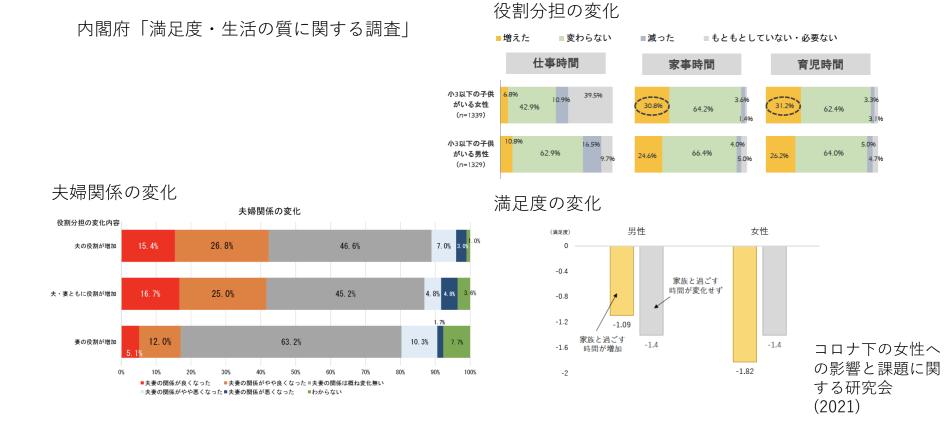
# 女性の自殺者数の増加



(警察庁HP「自殺者数」より作成。原数値。2020年分までは確定値。2021年分は2021年4月16日時点の暫定値。)

コロナ下の女性への影響 と課題に関する研究会 (2021)

# 役割分担の変化と家族関係/満足度



#### 中間まとめ

- 家族関係の揺らぎがメンタルヘルスに影響を与える可能性
- とくに男女によって状況が異なる?
- これまでの調査は、回顧的(過去を振り返って答えてもらう方法)で信頼度が?家族関係のゆらぎとメンタルヘルスの悪化の因果関係も明らかではない。

⇒デジタル社会調査の手法によるリアルタイムに近い形での サーベイ(アンケート)調査

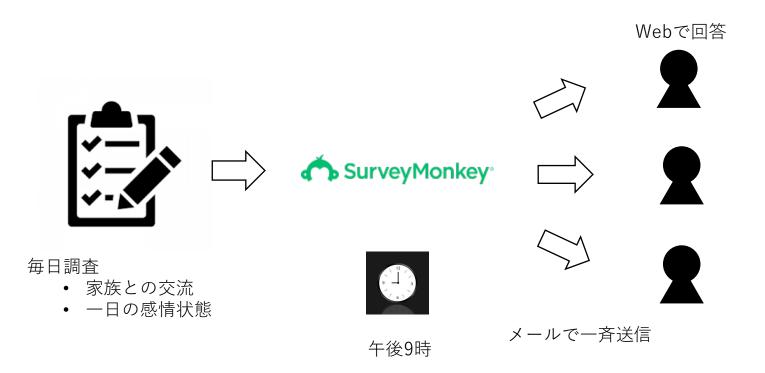
# 新型コロナウイルス感染症流行下での日 常生活に関するアンケート

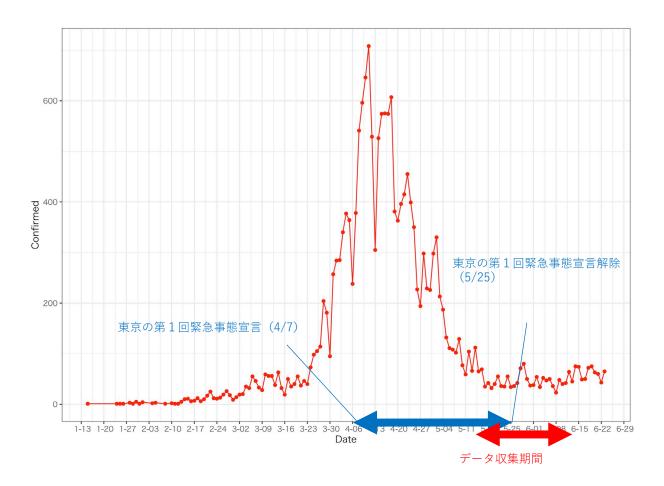
#### • 回答者の募集

- 2020年5月12日~14日まで、クラウドソーシングサイト(「クラウドワークス」)を通じて、家族と同居条件、一人暮らし条件を分けて募集
- 東京都・埼玉県・神奈川県・大阪府・兵庫県・福岡県・北海道(当時の特定警戒都道府県の一部)のいずれかの都道府県に在住、かつ20歳以上
- 同居:88人、一人暮らし:37人、計:125人

## 方法

経験的サンプリング法の実施(5月15日から6月13日まで30日間)





# 7つの感情状態

\*68. 以下のそれぞれの事柄について、あなたの現在の気持ちの状態に最も近いものを選んでください。

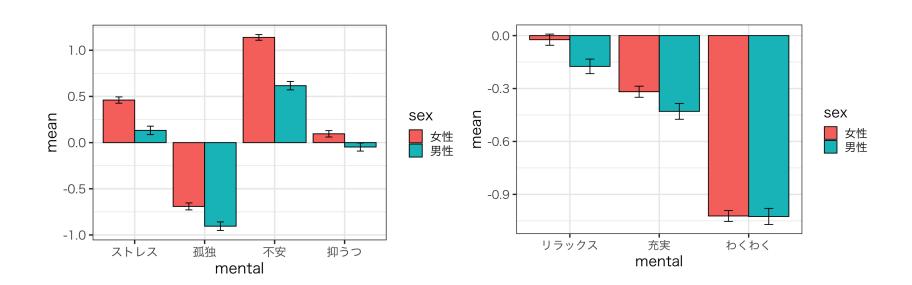
参感じ方の強さを「まったく感じない:-3」~「どちらともいえない:0」~「つよく感じる:3」の7段階で評価してください。

	まったく 感じない (-3)	-2	-1	どちらとも いえない (0)	1	2	つよく 感じる (3)
ストレスを感じる	0	$\circ$	0	$\circ$	0	0	0
孤独を感じる	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$
リラックスしている	0	$\circ$	$\circ$	0	$\circ$	$\circ$	
先行きが不安だ	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$
気分が落ち込む	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	
充実している	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	0
わくわくしている	0	0	0	0	0	0	$\circ$

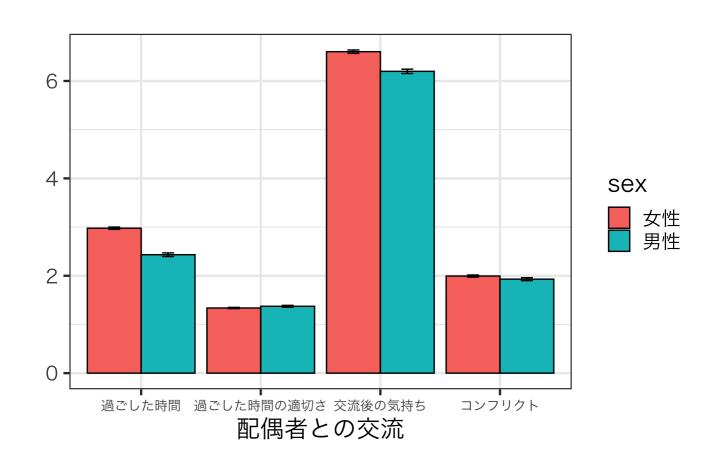
# 配偶者・子どもとの毎日の交流

* 10. 本日の配偶者の方との交流はどのくたいの合計時間をお答えください。	くらいの時間、行われましたか?何	可度も交流した場合はだい	* 11. <mark>配偶者の方</mark> と交流	<b>流する時間は、多すき</b>	ぎると思いますか?そ	れとも、少なすぎる	ると思いますか?
○ 1分未満			少なすぎる	やや少ない	ちょうどよい	やや多い	多すぎる
			O	0	O	0	0
○ 1~5分未満							
○ 5~15分未満							
○ 15~60分未満							
○ 1~4時間未満							
○ 4時間以上							
*12. 配偶者の方と交流した後にどんなだ) 気分になった」~「とても明るい			13. その交流で息	<b>蒸情的な行き違いやち</b>	ょっとした衝突がどの	のくらいありました	か?
してください。			まったく なかった	ほとんど なかった	どちらとも いえない	少し あった	かなり あった
とても沈んだ (疲れた、落 ち込んだ) 気分になった		とても明るい (前向きな、	$\circ$	0	$\circ$	0	0
	どちらとも いえない	晴れやかな) 気分になった					

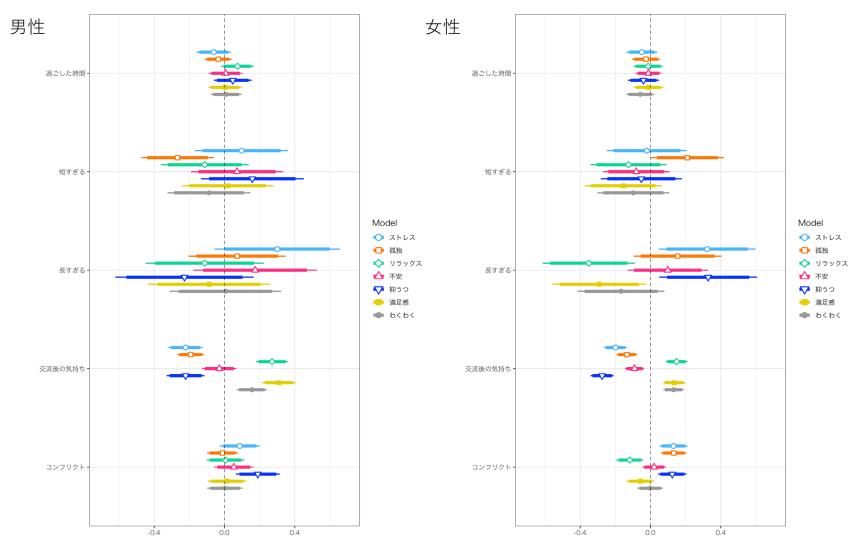
# 調査期間における感情状態の平均



# 調査期間における配偶者との交流の平均



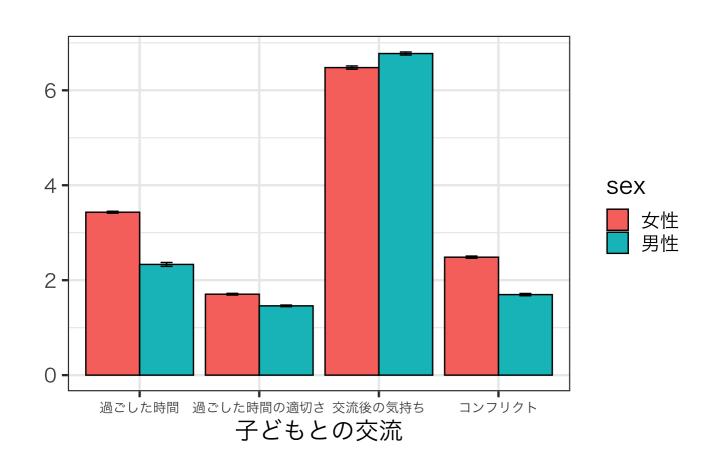
配偶者との日々のコミュニケーションのあり方は夫や妻にどのような感情をもたらすか?



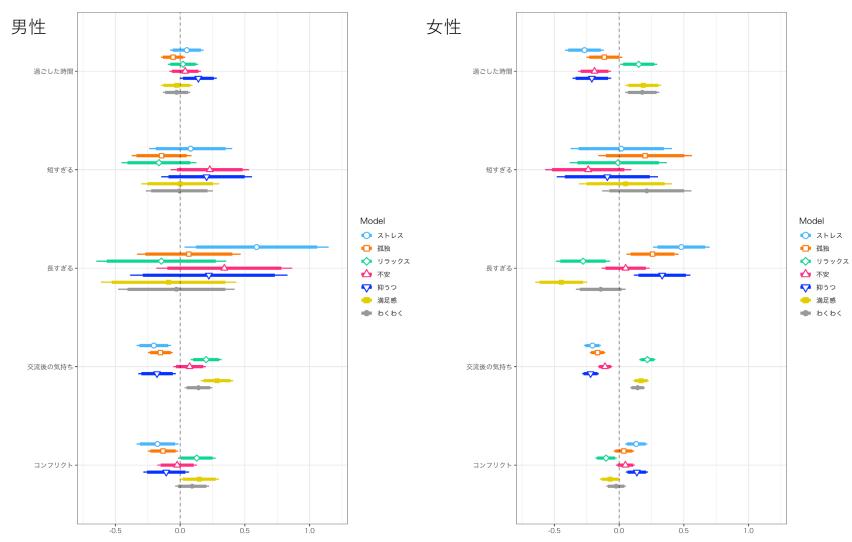
# 配偶者との日々のコミュニケーションのあり方は夫や妻にどのような感情をもたらすか?

- 配偶者との日々のコミュニケーションがうまくいくと(コミュニケーション後の気分がよいと)、その日の感情状態全般も上向きになる。
- (女性) 夫との時間が長すぎると感じるとき、感情に悪影響がある。
- (女性) 夫とのコンフリクトがあると、感情に悪影響がある。

# 調査期間における子どもとの交流の平均



子どもとの日々のコミュニケーションのあり 方は父親・母親にどのような感情をもたらす か? 日々のコ 男性 ミュニケー ションが、 感情に与える影響(固 定効果モデルによる推 定)



子どもとの日々のコミュニケーションのあり 方は父親・母親にどのような感情をもたらす か?

- 子どもとの日々のコミュニケーションがうまくいくと (コミュニケーション後の気分がよいと)、その日の感情状態全般も上向きになる。
- (女性)子どもと過ごす時間はポジティブに作用するが、過ごす時間が長すぎると感じるときには、感情に悪影響がある。
- (女性)子どもとのコンフリクトがあると、感情に悪影響がある。
- (男性)子どもとのコンフリクトはむしろ、感情に好影響を及ぼす。

#### まとめ

- コロナ禍における家族との関係性は人びとの感情に大きな影響を及ぼす。
- とくに女性は家族との時間が長すぎると感じる場合、精神的な負荷を感じることになる。
- 女性にとっては家族とのコンフリクトは感情により深刻な影響を及ぼす。
- →女性の方が家族との関係性に対するコミットメントが高い?

#### 政策的含意

- 家族の強制的近接を緩和するような措置の必要性。過度の外出制限は?
- 家族関係のマネジメントに対する女性の負担の軽減と男女の公平な責任分担の必要性